

2020年3月31日

医薬化粧品産業労働組合連合会
単組代表者メンバー 各位

医薬化粧品産業労働組合連合会
会長 浅野 剛志

血液製剤の現況を踏まえた献血への協力要請について

平素は薬粧連合の種々の活動に御理解と御協力を賜り誠に感謝申し上げます。

新型コロナウイルス(以下 COVID-19)の感染拡大により、治療に必要不可欠な血液製剤の安定供給にも多大なる影響が発生しております。この現況を踏まえたワクチン・血液製剤委員会からの要請を受けて薬粧連合の中央執行委員会にて審議した結果、献血への働きかけが必要であると判断し、薬粧連合として下記のとおり献血への御協力をお願い致します。

記

【血液製剤の現況】

血液製剤には、日本赤十字社(以下 JRC)が取り組む輸血用血液製剤事業と日本血液製剤機構、KM バイオロジクス、日本製薬が取り組む血漿分画製剤事業があります。

輸血用血液製剤は主に大量出血やガン、白血病などに使用され、血漿分画製剤は血友病、感染症、自己免疫疾患等幅広く用途があり、必要不可欠な製剤でもあります。

それぞれ、貴重な献血血液を原料とした製剤であり、国民の善意によって成立している事業であるため、今般の COVID-19 の感染拡大によって、2/25 以降は献血者数が献血計画の 87%程度まで落ち込んでおり、製剤を心待ちにしている患者さんの健康が危ぶまれる事態となっております。特に輸血用血液製剤の中には、採血後 4 日間しか使用期限の無い製剤もあります。

血漿分画製剤は、献血によって得られた血漿成分を原料として、単離精製した製剤で、行政によって原料血漿の分配量が定められておりますが、献血者が減少すれば、原料が不足し、予定された供給量が達成できず、国内自給に支障をきたす恐れがあります。

上述のような事態にあって、JRC からホームページ等で献血の協力呼びかけが発出されており、一日に必要な献血者数は、成分献血者を含めて約 1 万 3000 人です。

【献血へのご理解とご協力のお願い】

この様な現況を踏まえ、薬粧連合が綱領に掲げる「世界の人々の健やかでいきいきとした暮らしに貢献する」という理念に則り、血液製剤を心待ちにいらっしゃる患者さんの為に、薬粧連合に加盟する労働組合から組合員とそこご家族に向けて、貴重な善意の献血への協力を広く呼び掛けて頂きたいと思っております。

一方で、依然 COVID-19 の感染は世界的に拡大しており、国内においても予断を許さない状況が継続しています。ドナー本人の感染リスクの懸念も完全には払しょくできない状況であることから、献血ルームへ足を運んで頂く際には、マスクの着用や手指の洗浄に努めるなど感染防止策を徹底のうえ、協力依頼を実施して頂く様お願い致します。

以上

<参考資料> * 日本赤十字社ホームページより

【献血に関するお願い】

http://www.jrc.or.jp/activity/blood/news/200317_006118.html

【献血のために】

- 献血ルームの検索並びに予約は下記ホームページにてご確認ください。
<http://www.jrc.or.jp/donation/>
- スムーズな献血のために
 - ・当日の健康状態をご確認ください。
 - ・献血当日から3日以内に医薬品の服用がない状態であることをご確認ください。
 - ・渡航歴を確認頂き、ある方は献血の基準をご確認ください。
 - ・既献血者の方は献血者 WEB サービス「ラブブラッド」へご登録お願いいたします。
地域の状況や献血結果等様々な通知を受け取ることが可能ですので、ご活用下さい。
- 新型コロナウイルス感染症に対する取り組み

新型コロナウイルス感染症に対する取り組み

当社では従来より、感染症対策を行っていますが、新型コロナウイルス感染症の拡がりの懸念を受けて、さらに徹底した対策を行い、安全な献血会場の運営に取り組んでいます。

【職員の健康チェックを徹底しています。】

- + 日々の実施している健康チェックに加えて、出勤前・出勤時に体温測定を徹底しています。

【職員の手指消毒を徹底しています。】

- + 職員の出勤時、献血会場入退室時。
- + 献血受付時、問診時、献血カード更新時。
- + 看護師は献血者ごとに手袋を交換しています。

【献血会場の良好な衛生環境を保持しています。】

- + 献血会場にて使用する機材は日々、消毒液を用いて清掃しています。
- + 献血会場の入口で体温測定をするなど、良好な衛生環境に配慮した会場設営をしています。

《皆様へのお願い》

(付き添いの方もお願いします。)

- ◇ 献血会場では入口に備えている消毒液にて手指消毒をお願いしています。
- ◇ 入口にて体温測定を実施しています。
(発熱が確認された方については献血会場への入場をご遠慮いただいています。)

新型コロナウイルスの感染の拡大が懸念される現在でも、毎日約 3,000 人の患者さんが輸血を必要としています。尊い命を救うために、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。